



JR東労組 (東日本旅客鉄道労働組合)

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-24-1
東日本旅客鉄道株式会社 代々木総合事務所 5階
電話 03-5315-0941

2023年1月1日

発行人 佐藤英樹 編集人 湯ノ目亜矢子

第744号

毎月1回20日発行/一部20円
(組合員の購読料は、組合費に含む)



JR東労組ホームページは
←こちらからアクセス
<http://www.jreu.or.jp/>



貼り絵 会田 英嗣さん (小金井運転区分会)



安全・安定輸送、雇用と生活を守るために、JR東労組への結集と、23春闘やあらゆる組織破壊行為に全組合員で立ち向かおう！
JR東労組 中央執行委員長 佐藤 英樹

組合員・ご家族の皆さん、OB会の皆さん、いつもJR東労組に対してご指導・ご支援頂いております皆さん、明けましておめでとございます。

昨年、JR東労組結成35周年、「えん罪・JR浦和電車区事件」から20年の節目を迎え、組合員の団結はもろろんのこと、たたかいて培った友情と連帯の輪をより強固なものにすることを確認しました。

私たちは、安全輸送や依然として続くコロナ禍におけるお客さま案内、働き方の変化や組織の再編、相次ぐ物価上昇などに対して、組合員の労働実感と生活実感を基礎に、春闘や期末手当などの要求実現に向けて果敢にたたかってきました。しかし、私たちの期待とは大きくかけ離れた低額回答が示され、「これでは納得できない」と組合員の皆さんだけではなく、組合未加入者の皆さんと怒りや悔

ましておめでとございます。



「2023JR総連春闘」として連帯と共闘を強め、あらゆる不当な行為と組織破壊行為とは徹底してたたかい、運動を通じた組織強化・拡大を共に創り出そう！
JR総連 執行委員長 山口 浩治

JR東労組組合員、OBのみならず、明けきたと声を上げていかなければなりません。

昨年来、世界的な戦争体制の転換の契機となったウクライナ戦争は、年を越し、長期化しています。停戦の兆しすら見えません。

JR総連は、「ウクライナ避難民支援カンパ」を通じて人道支援を続けていますが、いまだ戦禍により命を失い、生活を奪われている方々が増え続けています。私たちは、一刻も早い停戦とロシア軍の撤退のために「できないこと」を考えていきますが、日本政府に対して、「制裁」に相乗りするのではなく、積極的に両国に向けて「戦闘停止」を発信すべ

常的に厳しくなっています。連合は「5割程度」

しさを一致させたことで、「JR東労組が職場でたたかう姿勢」に多くの賛同を得ることができました。組織拡大は18春闘から2000名を越えましたが、現状に満足することなくJR東労組への結集をめざしていきます。

これからも私たちのたたかう姿勢に対して、経営環境が厳しい中で要求を掲げる労働組合への悪宣伝がおこなわれることは容易に想像できません。2022年度年末手当の低額回答に対する職場からの怒りの声を基礎に、「共にたたかう仲間を拡大しない限り要求は実現しない」と決意を固め、あらゆる組織破壊行為を許すことなく、23春闘に向け組織一丸となって奮闘しようではありませんか。

地方ローカル線問題は、輸送密度が1000人未満の路線について、JRと沿線自治体が協議を促す支援策を盛り込んでいるほか、

岸田政権の暴走が止まりません。「5年間総額43兆円の防衛費の確保」、「防衛3文書改訂」などの戦争体制の強化、廃止が決まった原発の建て替えや60年を超える原発の運転を可能とする「政府方針の転換」、増税、後期高齢者の医療費窓口負担2割の新設、年金の減額、介護保険利用者負担の増額検討など、私たちの生活の安全と安心が急速に失われて

組合員の生活は、年末手当の低額回答や、円安、原料価格高騰による物価上昇により非常に厳しくなっています。連合は「5割程度」

という賃上げ要求の水準を決定しましたが、今年も「産別自決」の様相が強まっています。昨年の春闘では、芳野会長が山場で自民党麻生副総裁との会食が報じられ、さらに多くの反対意見がある中で安倍元総理の国葬にも参加しました。連合は、組合員の声を受け止め、労働者のためのたたかひの先頭に立つべきです。JR総連は22春闘の教訓を活かし、さらに連帯・共闘を強め「2023JR総連春闘」をたたかひ、要求の満額獲得と連合連動強化をめざしてたたかひます。

経営側は、さらなる生産性向上をめざし、会社組織再編、働き方改革を進めています。

財源確保に向けて不足分は増税で賄う方針を示しました。台湾有事や北朝鮮の弾道ミサイル発射などを想定して軍事大国化に向けた動きが加速しています。

防衛省では、鉄道の軍事輸送協力なども具体的に検討されており、私たちは、「憲法9条改悪反対」「すべての戦争政策に反対」「平和で安心して暮らせる社会の実現」に向けて、9条連ならびに地域や議員の皆さんと連帯し、広範なたたかひをつくり出していきます。

JR東日本グループ全体で大配置転換と大構造改革がめざされようとしています。JR東労組は、安全・安定輸送、雇用と生活を守るために職場からのたたかひを通じて、組合員の団結で現実を切り拓いていきます。

2023年、組織拡大を最大の課題と位置づけ奮闘します。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。



加えて本人希望を無視した異動、不当労働行為も散見されます。「安全、健康、ゆとり」の実現のために、不平等、不利益などの、あらゆる不当な行為と組織破壊行為とは徹底してたたかひ姿勢を貫いていきましょう。

JR東労組組合員、OBの皆さん！「平和・人権・民主主義」を守るために、国会議論も国民議論も蔑ろにする岸田政権に反対し、推薦議員の皆さんとともに政権交代に向け、たたかひにはありませんか。そして統一地方選挙に勝利し、地域の皆さんと連帯し、地方ローカル線の存続の議論も深めていきましょう。さらに全国各地の「9条連」の仲間と「憲法9条改悪反対」のたたかひを強化していきます。

非常に厳しい情勢ですが、今年もJR総連の旗のもとに結集し、団結を固め、組織強化・拡大に向けてたたかひましょう！